

## 基本計画（案）への御意見等と御意見に対する調整内容

項目	主な御意見等	調整内容等
第1章 施策1-1 （商工業）	御意見① 抽象的な施策の羅列ではなく、具体的な施策を工業振興に盛り込んでいくべきである。 商業について、施策の目指すべき姿をもう少し絞っていければと思う。 御意見② 1-1-6に「市場開拓を行い、地場産業の販路拡大を促進します」とあるが、表現をもう少し具体的に考えていただければ良いのかなと思う。	御意見①② 基本計画は、施策の方向性を示すものであり、より個別具体的な事業については、基本計画の施策に基づき計画する実施計画に登載することとなりますので御理解願います。
第1章 施策1-2 （観光）	外国人観光客はどのくらいいるのか。米沢でも外国の方を見かけることが多くなったと思うが、まだ観光として誘致するゆとりがあると思うので、他市と比較してみて現状値3,500人や目標値5,000人がどうなのかと思った。	県の統計によりますと、外国人旅行者（宿泊者・立寄者）は、平成26年（1月～12月）で置賜地域は4,319人、村山地域は34,726人、庄内地域は10,335人、最上地域は5,788人となっています。（参考：平成26年外国人旅行者県内受入実績調査結果（県商工労働観光部観光交流課平成27年5月発表）） 平成26年の結果の公表を受け、現状値の数値変更と、おもてなし山形県観光計画に掲げる増加率を勘案した目標値の見直しを行いました。
第1章 施策1-3 （農林業）	銀座など首都圏で展開しているアンテナショップの売上などは把握しているのか。商業や観光は外に発信していかないと難しいと思うので、指標をつくるためにも数値が知りたい。	アンテナショップは戸越銀座商店街（品川区、H21より）と用賀商店街（世田谷区、H24より）の2箇所で展開しているところであり、売上額及び開催期間は次のとおりです。取扱品は米、野菜・果樹、加工品等となっております。 なお、アンテナショップは、米沢のPRを主目的としていること、また、戸越銀座においては毎年販売期間が異なることから売上額を指標とすることは妥当ではないものと考えています。 ※ 米沢おもしろなショップ 首都圏展開 アンテナショップの売上推移 1 戸越銀座商店街（品川区） 平成26年度11/22（土）～24日（月） 売上金額 569,567円 平成25年度11/22（金）～24日（日） 売上金額 447,812円

		<p>平成24年度8/20（月）～26日（日） 売上金額 589,416円</p> <p>平成24年度11/23（金）～25日（日） 売上金額 510,329円</p> <p>平成23年度4/27（水）～28日（木） 売上金額 773,105円</p> <p>2/24（金）～26日（日） 売上金額 633,431円</p> <p>平成22年度11/1（月）～30日（火） 売上金額 3,324,971円</p> <p>平成21年度（8/29（土）～30日（日） 売上金額 548,520円</p> <p>2 用賀商店街（世田谷区）</p> <p>平成26年度（通年） 売上金額 1,958,820円</p> <p>平成25年度（通年） 売上金額 2,560,615円</p> <p>平成24年度（11/1～3/31） *5カ月 売上金額 1,072,740円</p> <p>内部修正①</p> <p>施策1－3につきまして、畜産分野の現状と課題が記載されていなかったことから、追記しました。</p>
第2章 施策2－1 （社会教育）	<p>施策2－1の現状と課題に「コミュニティセンターの環境整備」とあるが、各地区のコミュニティセンターの中には建設以来50数年経つ施設が1か所、築50年に近い施設が2か所あり、かなり老朽化が進んでいる。積極的に改築あるいは改修がないと大変な状態であるので、表現を少し検討していただきたい。</p>	<p>コミュニティセンターを含む公共施設全体のあり方については、どのような基準、原則で今後の整備を進めていくかを、財政運営の見通しや市民ニーズ等を踏まえて検討していく必要があること、また、個別具体的な事業については、実施計画策定時に基本計画の施策に基づき検討することとしていることから、現行の表現のままとさせていただくことを御理解願います。</p>
第2章 施策2－2 （学校教育）	<p>御意見①</p> <p>施策での取り組みの2－2－1「学校教育の充実」の中で保育園や幼稚園でのことについて触れて、そして改めて、後にある子育てと健康長寿を支えるまちづくりでも触れていくという形になるのではないか。</p> <p>御意見②</p>	<p>御意見①</p> <p>子育て支援については今後重点的に力を入れていくべき施策の一つであることから重点事業の一つとして、切れ目のない子育て支援施策を掲げることとしました。</p> <p>なお、同じ内容について複数の箇所に重複して記載することについては、分りやすさの点から極力避けるべきと考えていることから取組の構成は現行のままとさせていただきたいと考えております。</p> <p>御意見②</p>

<p>施策2-2-1「学校教育の充実」に、「学校不適應の子どもたちへの一貫した支援を推進するため、関係機関との連携等について検討します。」とあるが何となく中間報告より後退しているような表現になったのではないか。検討していただきたい。</p> <p>御意見③</p> <p>「郷土に愛着を感じ、本市の将来を担う意欲ある人材を確保するため、道徳教育の充実を図り、自立心やチャレンジ精神の育成を推進します。」という文章には道徳教育だけが出てくるが、それだけではないと思うので表現を検討していただきたい。</p> <p>御意見④</p> <p>期待する役割として、「いのちの大切さを理解し、優しさや思いやりを持って人と接しましょう。」と書いてあり、まさにその通りであるが、中間報告書にあった自立心等の表現もあっていいのではないかと思う。</p> <p>御意見⑤</p> <p>「子どもたちが健やかに成長する環境づくりの推進」の目標値は学校給食以外でも出していただきたい。</p> <p>御意見⑥</p> <p>「施設の老朽化に伴う改修を今後も計画的に進めていく」と簡条書きで書いた方がいいと思う。この資料を見た時に、全文章を読まなければ理解できないということではなく、パッと見て教育環境の充実のためにはこういったことを進めていくのだと分かる形の表現にしていただきたい。</p> <p>御意見⑦</p>	<p>御意見を踏まえ「検討します」を「図ります」に修正しました。</p> <p>御意見③</p> <p>道徳教育は、道徳の授業ではなく各授業科目における郷土愛を育む教育という意味を持たせた表現としておりましたが、誤解を招く可能性もあることから、御意見を参考に、「道徳教育」を「心の教育」に修正しました。</p> <p>御意見④</p> <p>自立心、チャレンジ精神の育成について、施策2-2-1の学校教育の充実の取組の中で記載させていただいているところです。</p> <p>御意見⑤</p> <p>教育における施策の目標値については、設定が困難であることから、現行の通り食育としての目標値で設定いただきますことを御理解願います。</p> <p>御意見⑥</p> <p>施策での取組はなるべく施策の簡潔な表現となるよう努めているところですが、分りやすさの視点としては基本計画全体の項目を少なくすることも大切だと考えていることから関係する事項についてはまとめた文章とさせていただきたいと考えています。</p> <p>御意見⑦</p>
--	--

	<p>現状と課題の2つ目に不登校の発生率のことが書いてあるが、これを見ると、米沢市の子どもを取り巻く環境の中で一番の課題が不登校と読み取れてしまうような気がします。同様に施策2-2-1にも「いのちを育む大切さ」の次に「不登校」がきています。大事なテーマではありますが、最初に出てくると、今後10年間で真っ先に取り組むべき課題が「不登校」と捉えられてしまうと思いますので、章の構成についても考えていただきたい。</p>	<p>教育の分野におきましては、学校に登校することが前提で他の教育施策が成り立っているという考えから、不登校の解消については重要な課題であるという認識のもと、文章の構成を行っておりますので御理解をお願いいたします。</p>
<p>第2章 施策2-3 (スポーツ)</p>		<p>内部修正</p> <p>国のスポーツ立国戦略では「する・観る・支える」が基本的考え方としていることから、「観る・支える」の施策を追記しました。なお、「支える」とは指導者やボランティアを通した「支え(育てる)」考え方です。</p>
<p>第2章 施策2-4 (芸術文化)</p>	<p>一刀彫や米沢織といった伝統工芸の後継者が不足しており、もしかすると何年か後になくなってしまいう技術があるかもしれないというくらい危機的な状況だと思っています。ですので、伝統工芸の保存や伝承も施策に入れていただきたい。</p>	<p>伝統工芸については、保存や伝承を前提として1-1-4の地域ブランドの強化の中に施策として記載しているところです。</p>
<p>第2章 施策2-5 (交流)</p>	<p>実際にどこの都市と米沢市が姉妹都市を結んでいるのかを具体的に明記されると、現状を把握する意味で大事だと思う。</p>	<p>姉妹都市等を一覧表にて記載いたしました。</p>
<p>第2章 施策2-6 (学園都市)</p>	<p>実際、統計データを見ると学生の数は減っています。今回、学園都市構想を打ち立てたわけですので、学生やそこに関わる家族などがどのくらいいて、数値を出すのはなかなか難しいとは思いますが、イラストでもいいので目に見えるようなものがあるといいのではないかと。</p>	<p>学生数については、平成22年度に山形大学で学科の改組に伴い、入学定員数をそれまでのBコース定員80人からフレックスコース定員50人へ削減したことが学生数の減少に影響しています。</p>
<p>第3章 施策3-1 (健康)</p>	<p>御意見①</p> <p>施策の目指す姿の内容で、「市民一人ひとりがいきいきと暮らし、運動や食を通じた健康への意識が高い、健康増進のまちを目指します。」とありますが、健康づくりから見ると、運動と食の比重は食の方が重いと考えますので、この表現は「食と運動」が適切だと思う。</p>	<p>御意見①②③</p> <p>御意見に基づき、当該箇所を修正しました。</p>

	<p>御意見②</p> <p>4-1-2（現計画3-1-2）「生活習慣病の予防の推進」の第1文で「食生活改善や生活習慣の定着などによる一次予防に重点を置いた対策」とあり、どんな生活習慣を定着させるのか記載する必要があると思う。例えば「健康な生活習慣の定着」とすれば合うと思いますし、先ほどの食と運動を取り上げるのであれば、「食生活改善や運動習慣の定着などによる」という表現がいいのではないか。</p> <p>御意見③</p> <p>施策4-1-4（現計画3-1-4）「健康推進体制の整備」にある「シンクタンク機能を活用した効果的な食育の推進、重症化予防等の保健活動」となっていますが、重症化予防には何の予防が必要と言う記載が必要だと思う。例えば、「生活習慣病の発症予防と重症化予防」などの表現がないと分からないのではないか。</p>	<p>内部修正</p> <p>施策3-1-4「健康推進体制の整備」の取組において記載しておりました、「医療、福祉、介護等のサービスを切れ目なく提供する体制づくり」は、施策3-3に記載している地域包括システムの取組内容と重複しておりましたことから、削除するものとし、地区における保健活動の取組を追記しました。</p>																																																					
<p>第3章 施策3-2 (子育て)</p>	<p>定員数よりも入所児童数の推移を見ていった方が、0歳児から6歳児の動向が見えるのではないか。また、0歳児から6歳児までの総数を見ていった上で、子どもたちの幼稚園、保育所、無認可保育所、家庭の4つのパターンでどのように数値が推移しているか見たほうがいいのではないか。</p>	<p>0歳から6歳未満の就学前児童数の推移は以下の通りとなりますが、子育て環境全体の施策として考慮した場合、今後認定こども園への移行等変化も見込まれることから、個別施設区分の児童数の推移ではなく、需要が高まっている保育所の定員数の推移のみを統計データとさせていただきたいと考えています。</p> <p>なお、詳細な統計データにつきましては、個別事業計画で記載をしているところです。</p> <table border="1" data-bbox="1256 1082 2033 1473"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">本市の就学前児童数 (0歳～6歳未満)</td> <td>4,366</td> <td>4,290</td> <td>4,208</td> <td>4,307</td> <td>4,203</td> <td>4,071</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">入園児童数</td> <td>保育所</td> <td>1,261</td> <td>1,307</td> <td>1,359</td> <td>1,428</td> <td>1,474</td> <td>1,518</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>1,295</td> <td>1,271</td> <td>1,189</td> <td>1,308</td> <td>1,304</td> <td>1,212</td> </tr> <tr> <td>児童センター</td> <td>132</td> <td>121</td> <td>119</td> <td>122</td> <td>108</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>認可外保育所</td> <td>288</td> <td>271</td> <td>265</td> <td>297</td> <td>218</td> <td>196</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>2,976</td> <td>2,970</td> <td>2,932</td> <td>3,155</td> <td>3,104</td> <td>3,026</td> </tr> </tbody> </table>			H21	H22	H23	H24	H25	H26	本市の就学前児童数 (0歳～6歳未満)		4,366	4,290	4,208	4,307	4,203	4,071	入園児童数	保育所	1,261	1,307	1,359	1,428	1,474	1,518	幼稚園	1,295	1,271	1,189	1,308	1,304	1,212	児童センター	132	121	119	122	108	100	認可外保育所	288	271	265	297	218	196	計		2,976	2,970	2,932	3,155	3,104	3,026
		H21	H22	H23	H24	H25	H26																																																
本市の就学前児童数 (0歳～6歳未満)		4,366	4,290	4,208	4,307	4,203	4,071																																																
入園児童数	保育所	1,261	1,307	1,359	1,428	1,474	1,518																																																
	幼稚園	1,295	1,271	1,189	1,308	1,304	1,212																																																
	児童センター	132	121	119	122	108	100																																																
	認可外保育所	288	271	265	297	218	196																																																
計		2,976	2,970	2,932	3,155	3,104	3,026																																																

		<p>※4月1日現在</p> <p>※保育所児童数は本市から他市町への委託児を含む</p> <p>※避難児童対応保育所は含まない</p>
<p>施策3-3 (高齢福祉)</p>	<p>高齢者福祉や介護保険制度が施策として打ち出され、地域包括ケアシステムの構築が出てきている一方で、施策4-6で適切な医療を受けられる環境整備と、市立病院の改築といったハードやネットワークを整備しようという項目があり、施策が離れていると感じています。福祉・医療・介護は一体化しなければいけないわけで、それがあって初めて地域包括ケアシステムができると考えます。</p>	<p>福祉・医療・介護の分野についてまとめて1つの施策とすることは、分量的に多くなることから、現行の体系とさせていただきます。</p>
<p>施策3-6 (医療)</p>	<p>いかに患者さんに対してきめ細やかなサービスを提供できるかも大事なかなと思いました。多くの患者さんに来院していただいて、多くの患者さんがストレスなく利用できるような環境の充実も図ってほしい。</p>	<p>病院の施設等の整備や医師・看護師の確保を行うことでより満足されるサービスが提供できるものと考えておりますので御理解願います。</p>
<p>第4章 施策4-1 (住環境)</p>	<p>空家の数値があるのであれば入れていただきたい。</p>	<p>空家につきましては、平成24年11月に各コミュニティセンターを通じて調査を行ったものが直近のデータであり、最新のものが無いことから、今回は掲載しないこととさせていただきます。</p> <p>なお、平成24年11月の調査時には、市全域で空き家は899軒、その内老朽化など適正に管理されていない空家が248軒確認されたところです。</p> <p>危険な状態となっているものについては、持ち主に適正な管理を行うようお願いをしているところです。今後も引き続き、空家等の有効活用、調査等についての取組を進めることとしておりますので御理解願います。</p>
<p>第4章 施策4-2 (土地利用)</p>		<p>内部修正</p> <p>施策4-2-2「コンパクトなまちづくりの推進」での取組で、立地適正化計画の策定を検討し、計画的なゾーニングによる適正な土地利用の推進を追記しました。なお、立地適正化計画とは居住地域や医療・福祉・商業、公共交通等の様々な都市機能の誘導により都市全域を見通したマスタープランのことです。</p>

<p>第5章 施策5-1 (防災・消 防)</p>		<p>内部修正 施策5-1-2「地域防災力の強化」の取組として掲載していた消防団活動について、内容が消防力強化の促進であることから、施策5-1-3「消防力の強化」の取組に移動しました。</p>
<p>第5章 施策5-3 (雪対策)</p>		<p>内部修正 施策5-3-3「道路、住宅等における融雪施設等の充実」については、雪害防止等安全に配慮した住宅克雪化への支援と克雪化普及への啓発活動を追記しました  施策5-3-5「雪を利用した産業、観光の振興」の取組に、冬期観光への取組を追記しました。</p>